

# こくりにゆうだよ



大阪府立池田高等学校 2年 佐々木 耀介 「色彩」



## 今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



第20回

### 多文化フェスティバル

12月21日(土) 10:30~14:00

外国につながりを持つ子どもたちが主役になり、仲間やルーツのことを知ったり、一緒に遊ぶお祭りです。今年はおにぎり作りも開催予定！

対象：外国にルーツをもつ小学生・中学生  
(それ以外の友だちは招待券を渡して誘うことができます)

参加費：無料

申込：電話・メール・来館

※12月10日(火)までに申し込みをしてください。

### 世界とつながる交流カフェ ～中国編～

12月26日(木) 14:00~16:00

中国出身の呉さんが出店者となり、中国につながる飲み物(お菓子付き)を一杯200円(高校生以下100円)で販売します。その他、中国語を使っでの交流や中国の遊びの体験ができます。

参加費：無料

場所：庄内コラボセンター 1階カフェスペース  
(豊中市庄内幸町4丁目29-1)

## 【報告】10/5（土）日本文化紹介事業「お寺で坐禅を体験しよう」を開催しました。

10月5日（土）14時～16時に、東光院萩の寺において「日本文化紹介事業：お寺で坐禅を体験しよう」を開催しました。当日は中国、台湾、韓国、インドネシア、ネパール、インド、アメリカ、ドイツ等にルーツのある方々16名が参加しました。

当日は副住職の村山博雅さんから坐禅についてお話をうかがい、その後は本堂内で坐禅を体験しました。色とりどりの萩の花に囲まれた荘厳な寺院で静かに座り、自分自身と向き合う時間を持つことができました。参加した人からは「とてもよかった、新しいことを学びました」、「禅についての入門講座をありがとうございました。心が動かされました。とてもあたたかな雰囲気でした」、「とても落ち着けてよかった」など、好評をいただきました。（協会職員・山本愛）

本堂にて坐禅体験中！ →



## 【報告】10/19（土） 難民セミナーを開催しました！

10月19日（土）15時～17時、「難民の友に、難民と共に」を開催し、26人が参加しました。講師は、鎌倉市で難民のシェルターを運営しているアルペなんみんセンターの漆原比呂志さん。日本や世界の難民の状況、そして地域での難民受け入れの実践についてお話をうかがいました。

難民は戦後、増加の一途を辿っており、現在世界で約1.6億人います。しかし日本政府は難民受け入れには消極的で、難民条約に加入している諸外国と比較すると、その数は非常に限られています。難民の認定者数はその国の人権感覚をはかるバロメーターであると言われており、難民認定制度の見直しが必要であることを、力強く語っておられました。

アルペなんみんセンターは難民が安心して生活できるシェルターを運営しています。多くの地域ボランティアや難民の当事者と共に、地域の活動に積極的に参加し、交流するだけでなく、制度改善を目指して行政にも働きかけながら、難民について共に考える機会を創出しています。

参加者からは、「難民問題は遠い所の話という感覚だったが、そうではないと気づくことができました」、「法的な整備の必要性を感じた」、「日本が自国の人権問題を考えられるようになってほしい」、「関心を持ち続けたい」という感想が多数寄せられました。

漆原さんは、難民支援の中で感じたジレンマや、そこから気づき、学んだことを率直に語ってくださいました。難民の受け入れは日本社会が生み出す人権課題そのものです。一方的な支援だけではなく、私たちも学びながら、タイトルにあるように「友」として、当事者や地域と「共」に関わり、社会を変えていくことが重要である、と知ることができました。（協会職員・山本愛）



講師の漆原さん



セミナーのようす

## 【報告】10/22 English Day ～ネパール編～ を開催しました。

10月22日（火）10時30分～12時に英語を通じた多文化理解講座として『English Day～ネパール編』を開催しました。この講座は、日本語では難しいけど英語であれば自国文化の紹介等ができるという外国人の活躍の機会と市民のみなさんとの交流の場づくりを目的に新たに開始したものです。

英語のみで通訳なしの講座という初めての試みにどのくらいの参加者が集まるか不安もありましたが、29人の方にご参加いただきました。講座では講師のラジャニさんの自己紹介から始まり、ネパールの地理的特徴やネパールが多民族・多言語・多宗教国家であること、そしてそれぞれの民族や宗教を大切にしてお祭りの数々や食文化についての紹介など、盛りだくさんの内容を簡単で易しい英語でお話いただきました。

参加者からは「少し遠い国のネパールがとても近い国だと思えました」「民族、宗教、言語、文化も異なる人たちが集まって一つの国になっているところが魅力的」「絶対にネパールに行きます!」といった感想が寄せられました。ラジャニさん自身も地域の人たちと出会い、つながる機会にもなりました。

今回の講座が大変好評でしたので、今後も違う国や文化をテーマにEnglish Dayを開催したいと思います。（協会職員・山根絵美）



講師のラジャニさん

## 『後から後から』

協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“まんかふえ”等）に参加していた辻明典さんが、2013年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

「なんか、生かされてんな」

「誰に？」

「それが、わからんのですわ」

今年公開された、映画「生きて、生きて、生きろ」（監督：島田陽磨）のなかに出てくる言葉です。震災と原発事故から13年。福島では、時間を経てから発症する遅発性PTSDなど、こころの病が多発。若者の自殺率や児童虐待も増加。そのような状況のなかで奔走する医療従事者の姿を捉えたドキュメンタリーです。

拙稿よりも、よりリアリティをもって福島の現実が描かれているので、おすすめの作品です。

私も、福島の、特に浜通りで暮らしていると、曰く言い難いのですが、なんとはなしに感じられる雰囲気があります。例えるなら、「待てない」「聴けない」「落ち着きがない」「他者との距離感がつかみがたい」といった人が増えたような、浮き足だった空気感のようなものです。（もちろんこれらが、全ての人たちに当てはまるような特徴ではない、ということも申し添えておきます。）

ただ、原発事故が起きたときに生まれた子どもは、中学生になりました。事故前後に出生した子どもたちの保護者は、当時は恐らく被災しており、避難を強いられ、土地を転々と移動せざるを得ない状況に強制的に置かれた人たちも多かったはずで。

幼子が不安を感じたとき、そばにいる大人が優しく声をかけ、そのケアを担うことはよくあることでしょう。しかし、原発事故によって長期にわたって翻弄された状態にあれば、大人も余裕を失い、それが十分にできない状況が生まれやすいことは、容易に想像できるでしょう。大人が余裕を失えば、そのしわ寄せは、弱い立場にある子どもにいてしまいます。それは、父親や母親をはじめとする家族が責めを受けるべき、ということではありません。これは間違いなく親と子どもを翻弄した国家の責任なのです。

「何を今更…」 「それは、福島だけの問題ではない…」 という声も聞こえてくる気もします。しかし、先ほどご紹介した映画「生きて、生きて、生きろ」のなかで「遅発性PTSD」が描かれているように、後発的に問題が吹き出してくるのではないか、という気がしてなりません。考えすぎでしょうか？それなら、それでいいのですが。

## 【おしらせ】やさしい日本語啓発事業が始まります！

豊中市の委託を受け、やさしい日本語啓発事業が始まります！

やさしい日本語(略して“やさにち”)は、日本語を優しい気持ちで、易しく言いかえたもので、外国人だけでなく高齢者や障がいを持つ人などにも有用とされています。ちょっとした工夫とコツで、伝えたいメッセージや想いが今よりもっと伝わります。

本事業では「とよなか・やさにちプロジェクト」と称し、オリジナルのテキストやワークシートを使用したワークショップや出前講座を行います。ワークショップや出前講座に関する詳細は、二次元コードよりご確認ください。

### -----ワークショップ日程-----

- ①12月7日(土)13:30～15:00 会場：庄内公民館
- ②12月13日(金)15:00～16:30 会場：千里公民館
- ③1月19日(日)13:30～15:00 会場：とよなか国際交流センター
- ④1月23日(木)10:30～12:00 会場：とよなか国際交流センター

※上記4回、内容は基本的に同じです。

※定員は各回40人。電話、メールまたは来館でお申し込みください。

【特典】とよなか・やさにちプロジェクトのオリジナルキャラクターの缶バッジやステッカーをプレゼント！



← 二次元コードを読み取って  
詳細をご確認ください。



とよなかヤサニチーズ！

# 2024 12月の事業開催カレンダー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
25	26	27	28	29	30	01 貸室抽選会 がちゃ 庄内 とよなかシネコン 14:00~17:10
02 もつと 相談	03 おやこ 相談 こんばす	04 休館日	05 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	06 金あさ にこにこ 相談 こんばす	07 たまりば 相談 やさしい日本語ワークショップ @庄内公民館 13:30~15:00	08 がちゃ 母語 サンプル 庄内
09 もつと 相談	10 おやこ 相談 こんばす	11 休館日	12 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	13 金あさ にこにこ 相談 こんばす やさしい日本語ワークショップ @千里公民館 15:00~16:30	14 相談	15 がちゃ サンプル 庄内
16 もつと 相談	17 おやこ 相談 こんばす	18 休館日	19 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	20 金あさ にこにこ 相談 こんばす	21 つとい 相談 多文化フェスティバル 10:30~14:00	22 がちゃ 母語 サンプル 庄内
23 もつと 相談	24 おやこ 相談	25 休館日	26 相談 世界とつながる交流カフェ @庄内コラボセンター 14:00~16:00	27 相談	28 相談	29 12/29~1/3 休館
30	31					

◆赤色で表記している活動については、活動内容を変更している場合があります。詳細については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

## \*センターが主催する定例事業\*

月曜日	もつともつとつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日	おやこ(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 つながれ とよなか オンライン!	13:30~15:00 13:30~15:00 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日	韓国・朝鮮のことばとあそびのついで ※基本、毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30~11:30 11:00~16:00 13:30~16:00
日曜日	にちようがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00~11:45 10:00~11:30 13:00~15:00 13:00~15:00

## 今月のピックアップ

### 多文化子ども保育「にこにこ」 ボランティア募集中!

多文化子ども保育「にこにこ」は、外国にルーツをもつ乳幼児のためのサポート事業で、毎週木曜日と金曜日に活動しています。

今回は木曜日(13:30~15:00)の活動に関わっていただける方、大募集です!お気軽にお問い合わせください。  
資格:原則 保育士、もしくは幼稚園教諭の資格を有する方(資格をお持ちでなくても、活動に関心のある方 ほか相談ください)

### とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゅうだより」第188号(2024年12月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会  
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F  
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)  
開館時間:9:00~21:30(水曜休館)  
TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375  
E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

